



2025年5月13日

各 位

会社名 株式会社Gunosy  
代表者 代表取締役社長 西尾 健太郎  
(コード番号：6047 東証プライム)  
問合せ先 取締役 岩瀬 辰幸  
最高財務責任者  
(TEL. 03-5953-8030)

## 株式会社Gホールディングスの株式の取得（完全子会社化）に関するお知らせ

株式会社Gunosy（以下「当社」）は、2025年5月13日開催の取締役会において、以下のとおり、株式会社Gホールディングス（以下「GH社」）の発行する株式を取得し、完全子会社化することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 株式取得の背景

当社は、「情報を世界中の人に最適に届ける」という経営理念のもと、情報過多によって適切な情報が届きにくくなっているという社会課題に対し、テクノロジーを活用してその解決を図るべく、総合インターネット企業としての進化を推進してきました。また、中核子会社である株式会社ゲームエイト（以下「ゲームエイト」）においては、「ゲームをもっと楽しくする、ゲームを通じて"楽しい"を共有する」という理念の元、国内トップクラスの月間最大5億PV、4,200万UUの実績を持つゲーム総合情報サイトを軸に、エンタメ向け総合決済サービス事業（以下「SC事業」）の他、デジタルを通じてゲーム業界を活性化するための諸事業を展開しています。

本件は、当社が2025年5月期第3四半期決算で公表したIR方針「資本効率の向上と株主還元力の強化」に沿った初のM&A案件であり、当社が公表している投資可能現預金40億円を有効に活用するための株式取得となります。

GH社は、後述する外部開発基盤を活用する"ファブレス型ゲームパブリッシャー"として安定的なキャッシュ・フローを創出しており、当社の連結ベースの資本効率、EBITDAおよび一株当たり純利益（EPS）の向上に貢献することを見込んでおります。

特にゲームエイトのSC事業との補完性が高く、ゲーム攻略メディアの運営ノウハウやアプリ外課金スキームを同社の事業と組み合わせることで、キャッシュ創出力を短期間にて強化できることを見込んでいます。あわせて、日本のアニメ・漫画IPの海外需要拡大という市場機会を捉え、当社グループのIPマネタイズ領域を拡張することで、中長期の成長ドライバーの獲得に貢献する見込みです。

投資可能現預金額(35-40億円)の投下領域



POINT

- M&Aは当面、**成長性より安定したC/F基盤の構築に向けた投資**を優先。
- 領域としては、バリューチェーン強化を目的としたM&Aをコア戦略と位置づけ。

近年、アニメ・漫画を中心とした日本発のIPは、国内のみならずグローバル市場においてもその存在感を年々高めており、IPを軸としたエンターテインメント市場は世界的に拡大を続けています。こうしたなかで、当社としても日本が強みを持つこの成長領域に参入し、事業展開を図ることは極めて戦略的な意義を有するものと捉えております。

GH社は、アニメ・漫画などの既存のIPに特化した"ファブレス型ゲームパブリッシャー"として、内製の大型開発ラインを持たず、外部パートナーが保有する開発基盤・ノウハウを活用するとともに、既存IPについてライセンス取得段階でもリスク・リターンを精緻にコントロールすることによって、安定的なキャッシュ・フローと高い資本効率、そしてタイトルごとに再現性のあるビジネスモデルを実現しています。

同社の最大の強みは、アニメ・漫画等のIPに対する深い理解と高い熱量に基づき、IPの魅力を最大限に引き出す力にあります。特に、有力IPごとに、そのIPの世界観と親和性の高いゲームジャンルを見定めた上で、そのゲームジャンルの開発を得意とする外部デベロッパーを選定し、当該外部デベロッパーおよびIPホルダーと協業しながら、ゲームのパブリッシングや運営を共同で推進する点が特徴です。こうしたアプローチにより、同社はIPの魅力を最大限に高め、ゲームとしてユーザーに最適な形で届ける橋渡し役として、ユーザー、IPホルダー、デベロッパーの間で独自の付加価値を創出しております。実際にGH社は、複数の有名IPタイトルでの企画・運営等の実績を有しており、再現性のある形で付加価値を創出してきた点も高く評価しております。なお、完全子会社後も現経営陣は引き続きGH社の経営に関与してまいります。

本件により、当社グループにおけるエンタメ領域でのシナジー創出が見込まれます。とりわけ、ゲームエイトを中心とするSC事業との連携を通じて、アプリ外決済ソリューションの提供によりGH社の利益創出力の強化を見込むことができます。

また、ゲームエイトとしても、これまでゲームバリューチェーンの中でゲームリリース後の支援を中心としてきた提供価値を、より上流の企画・パブリッシング段階まで広げる可能性が生まれるなど、双方にとって価値ある連携が進むものと考えております。

なお、本件の実行後も、当社は十分な投資可能現預金と借入を含む調達余力を有しており、引き続き安定キャッシュ・フローの成長に寄与する領域の企業を中心にM&Aを実行していく方針です。

当社は、金融業界およびM&A分野における豊富な実務経験、専門知識、ネットワークを有する最高投資責任者の間庭を筆頭に、弁護士や公認会計士などの専門人材を社内に擁し、M&Aを適切に推

進できる体制を構築しております。案件のソーシングから条件設計、デューデリジェンス、スキーム構築、契約交渉、経営統合（PMI）に至るまで、一連のプロセスを社内で統合的に実行可能な体制を備えており、案件ごとの複雑性やリスク特性に応じた柔軟な対応が可能です。

PMIに関しては、本件において間庭が主導的な役割を担うとともに、今後のM&A展開においても、案件ごとに専任のPMIチームを新たに組成し、バリューアップおよびグループ企業としての円滑なオンボーディングを図ってまいります。さらに、M&Aの本格的な展開を見据え、M&Aの実行に関する専門人材およびPMIを担う経営人材の採用を強化し、案件ごとに柔軟に対応可能な専門チーム体制のさらなる拡充を進めてまいります。

これにより、グループ全体としてのM&A実行力・統合力を継続的に高め、資本効率と一株当たり純利益（EPS）向上、それに伴う株主還元の強化を通じて企業価値のさらなる拡大を目指してまいります。

## 2. 取得する子会社の概要

|                           |                          |             |             |
|---------------------------|--------------------------|-------------|-------------|
| (1) 名称                    | 株式会社Gホールディングス            |             |             |
| (2) 所在地                   | 東京都新宿区西新宿3-7-30          |             |             |
| (3) 代表者の役職・氏名             | 代表取締役 李 俊求               |             |             |
| (4) 事業内容                  | スマートフォン向けゲームの企画・プロデュース   |             |             |
| (5) 資本金                   | 5百万円                     |             |             |
| (6) 設立年月日                 | 2018年6月20日               |             |             |
| (7) 大株主及び持株比率             | 相手方の意向により開示を控えさせていただきます。 |             |             |
| (8) 上場会社と当該会社との間の関係       | 資本関係                     | 該当事項はありません。 |             |
|                           | 人的関係                     | 該当事項はありません。 |             |
|                           | 取引関係                     | 該当事項はありません。 |             |
| (9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態 |                          |             |             |
| 決算期                       | 2022年5月期                 | 2023年5月期    | 2024年5月期    |
| 純資産                       | 16百万円                    | 187百万円      | 214百万円      |
| 総資産                       | 233百万円                   | 761百万円      | 821百万円      |
| 1株当たり純資産                  | 66,528.47円               | 747,781.04円 | 854,897.60円 |
| 売上高                       | 628百万円                   | 1,609百万円    | 1,998百万円    |
| 営業利益                      | 6百万円                     | 244百万円      | 35百万円       |
| 経常利益                      | 12百万円                    | 245百万円      | 39百万円       |
| 当期純利益                     | 8百万円                     | 170百万円      | 26百万円       |
| 1株当たり当期純利益                | 35,377.91円               | 681,252.57円 | 107,116.56円 |
| 1株当たり配当金                  | —                        | —           | —           |

### 3. 株式取得の相手先の概要

|     |              |   |
|-----|--------------|---|
| (1) | 氏名・住所        | 株式取得の相手方が個人のため、相手方の意向により開示を控えさせていただきます。 |
| (2) | 上場会社と当該個人の関係 | 該当事項はありません。                             |

### 4. 取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式の状況

| 項目            | 内容   |
|---------------|--|
| (1) 異動前の所有株式数 | 0株   |
| (2) 取得株式数     | 普通株式251株   |
| (3) 取得価額      | 株式取得価額 1,000百万円<br>アドバイザー費用等(概算額) 110百万円<br>合計(概算額) 1,110百万円 |
| (4) 異動後の所有株式数 | 251株(議決権比率:100%)   |

※上記の取得価額のほかに、2030年5月期までの一定期間において、株式譲渡契約に定めた条件が成立した場合、最大5億円を追加の対価として支払う可能性があります。

### 5. 日程

| 項目      | 日付(予定)        |
|---------|---------------|
| 取締役会決議日 | 2025年5月13日    |
| 契約締結日   | 2025年5月13日    |
| 株式譲渡実行日 | 2025年5月下旬(予定) |

### 6. 今後の見通し

本件株式取得は、2025年5月31日を連結会計上のみなし取得日とする予定であるため、連結業績への取込は2026年5月期第1四半期からとなります。なお、株式取得にかかるアドバイザー費用等として約110百万円を2025年5月期の連結業績の販売費及び一般管理費として計上する見込です。当社の当期の連結業績に関して、今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。